

地域活性化の拠点として期待！

～東通村多目的集会施設「布名見の里」落成記念式典～

3月3日（日）、目名地区に建設されていた多目的集会施設が完成し、落成記念式典及び祝賀会が行われました。

本施設は、地元の方々から名称を募集した結果「布名見の里（ふなみのさと）」と名付けられました。

約180名を収容できる多目的ホールをはじめ、事務室、会議室や研修室、調理実習室等を備え、広々とした開放的な空間を確保し、身障者用トイレや車椅子利用者への配慮として手すりやスロープが設けられるなど、お年寄りにも優しい、心安らぐ施設です。

落成記念式典では、越善靖夫村長より「完成した施設が様々な地域活動の拠点となり、皆さんの心と心を繋ぐ交流の場となることを望んでいます」と式辞が述べられ、また、工事に携わった(株)中嶋五郎設計事務所及び野村建設(株)に感謝状が贈られました。

式典後には、目名神楽会による屋固めが行われ、施設及び関係者の無病息災が祈禱さ

れました。

その後行われた祝賀会では、奥島勝義目名部落会長より「私たちは素晴らしいこの施設を大事に活用し、それぞれの分野において連携を強め、目名地区の更なる活性化に努めます」と挨拶があり、目名神楽会、目名婦人会による郷土芸能の数々が披露され、地域の皆さんと関係者が

施設の完成を盛大に祝いました。

目名地区に古来より受け継がれる県の無形民俗文化財の大神楽とともに、いつまでも地域の皆さんに親しまれ、地域活性化を図る上での拠点施設として、大いに利用されるよう期待しています。



挨拶をする奥島会長



式辞を述べる越善村長



地域の方々による郷土芸能が披露されました



目名神楽会による屋固め

施設概要

名称	布名見の里
工期	着工：平成24年5月2日 完成：平成25年1月15日
延床面積	566.42㎡
建築構造	木造平屋
総事業費	190,755千円



完成した「布名見の里」